

交流だより



袋井特別支援学校
支援連携課
令和6年3月

交流籍を活用した交流及び共同学習

今年度は感染症の広がりによる日程変更等があったものの、コロナ禍前のように直接の交流を実施することができました。たくさんの笑顔があらわれる交流となりました。

希望する本校の児童生徒は、居住する地域の小学校、中学校に行き、お互い知り合い、学び合い、社会生活の基礎づくりを目的に取り組みました。地域で生活する基盤づくりや地域の人とのつながりに広がっていくことを願っています。本年度の取り組みを紹介します。

小学部

実施人数	実施回数
46人	83回（1回実施…20人 2回実施…13人 3回実施…12人 間接…1人）

小学部は13名の児童が新しく交流に参加しました。昨年度も交流を行った児童は、教室につくと、友達が集まってきて「この席だよ。」と教えてもらっていました。

いくつか活動の紹介をします。



- ・自己紹介…学校紹介、好きな物やよく行く店・公園などを紹介
- ・レクリエーション…フルーツバスケット、ジャンケン列車、的あてゲーム、出店ごっこなど
- ・授業…音楽の打楽器で合奏、歌遊び（ロンドン橋）、図工の貼り絵、体育のしっぽ取りやポッチャなど

また、交流後には地元のお祭りに参加して、交流が広がった児童もいました。

中学部

実施人数	実施回数
7人	7回（1回実施…2人 2回実施…3人 3回実施…2人）支援学級5人

中学部の交流は、5名の生徒が中学生になって初めて交流に参加しましたが、大きな声で自己紹介し、落ち着いて活動に参加することができました。いくつかの活動を紹介します。

- ・自己紹介…好きなこと、得意なこと、頑張っていること、作業製品で作った物などの紹介
- ・レクリエーション…ドッジビー、ポッチャ、ジェスチャーゲーム、ボーリング、ドミノゲームなど
- ・授業…クラフトバンドでのリング作り、野菜（さつまいも）の収穫、リズム作り

友達と話したり、やり方を教えてもらったりしながら一緒に楽しく交流することができました。来年度も地域とつながっていくきっかけとなる交流を進めていきます。



アンケートより

実施した保護者の方、交流籍校から「同じ地区の子は、交流実施後、子ども会のイベントで顔を合わせたことを嬉しそうに報告してくれた。」「回数を重ねるごとに楽しく過ごせたと思う。」「また来てくれないかなという声が多かった。」などの感想がありました。来年度も保護者、本人の希望アンケートをもとに交流籍校と相談・調整して行います。